



外国語活動 3年

単元名：サンキューカードをつくって、ありがとうの気持ちをお家の人に伝えよう！

<p>Unit 7 単元名 サンキューカードをつくって、ありがとうの気持ちをお家の人に伝えよう！4/6 時間</p> <p>本時のねらい お家の人に渡すサンキューカードに必要なシェイプスカード集めについて、交流したり、やりとりする際の困りを共有して、より相手に伝わる方法を考えたりすることを通して、欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合うようにする。</p> <p>準備 キーセンテンス 1人1台端末 デジタル教科書 単語カード シェイプスカード サンキューカード (教師モデル)</p> <p>(評価規準) ※本時案に位置づける</p> <p>具体的な児童の姿 ジェスチャーしたり、言葉を復唱したり、簡単な英語を使い問い返したりしながら、欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合っている姿。 客側「Two, please.」 (ジェスチャーをして伝えている) 店側「Two, OK!」 (「Two, please.」に対して言葉を復唱している) 「Big? Small?」 (相手が欲しいものについて簡単な英語を使い問い返している)</p>			
時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価〈方法〉※支援を要する児童の手立て	準備物
3分	<p><b>Greetings</b></p> <p>○はじめのあいさつをする。</p> <p><b>Warming up</b></p> <p>○Classroom English Practice</p> <p>○【Let's Chant】</p> <p>: What do you want? P.31</p>	<p>※児童の実態に合わせて行う。</p> <p>前時までの学習から、話すことに困りがある児童が言い方に慣れ親しむために、歌うスピードを変えられるようにする。</p>	デジタル教材
2分	<p>○めあてを確認する。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>お家の人へのサンキューカード用のシェイプスカードを集めるために正確にやりとりしよう</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習の見通しや前時の学習をもとに、本時のめあてを確認し、<b>前時の自分のやりとりの様子を撮影した動画をもとに</b>自分のめあてを考える。</li> <li>自分がデザインしたサンキューカードをつくり、<b>お家の人への感謝の気持ちを伝えるには、友達と欲しい物を工夫して</b>尋ねたり答えたりしてシェイプスカードを<b>正確にやりとりする</b>必要があることを確認できるようにする。<b>(目的の確認)</b></li> </ul>	教師モデル  1人1台端末
5分	<p><b>Activities</b></p> <p>○Small Talk</p> <p>: HRT が尋ねる役、児童が答える役で、欲しいものを尋ねたり伝えたりする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>H: What do you want?</p> <p>C: Red rectangles, please?</p> <p>H: Big? Small?</p> <p>C: Big please.</p> <p>H: How many?</p> <p>C: Two, please.</p> <p>H: OK! Here you are.</p> <p>C: Thank you.</p> </div>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>前時の表現から発展したいところに着目させ、欲しいシェイプスカードを<b>集めるために正確にやりとりするにはどんな工夫が必要か</b>出し合うようにする。</li> <li>児童がより相手に伝わる方法を考えられるように、HRT が意図的にジェスチャーで表現したり、言葉を復唱したりする。</li> <li>※児童の実態に応じて、欲しいものを尋ねたり伝えたりする表現や形・色・数を表す言い方を、復唱しながら確認できるようにする。</li> </ul>	単語カード シェイプスカード

30分	<p>○Let's Talk : サンキューカードを作るために必要なシェイプスカードを英語で伝えて集めたり、渡したりする。 (前半:10分、half time:5分)</p>	<p>・お店側になる児童は、自分の会話の様子を動画で録画するようにする。</p>	1人1 台端末
<p>[想定される児童の姿]</p> <p>A: What do you want? B: <u>Pink hearts, please?</u>(指さし) A: <u>Pink hearts.</u> (繰り返し) <u>Big? Small?</u>(ジェスチャー) B: <u>Big, please?</u> (ジェスチャー) A: How many? B: <u>Two, please.</u> (ジェスチャー) A: <u>Two</u>(繰り返し), OK! Here you are. (後半:15分)</p>		 <p>・Half Time では、4つの特徴(数・大きさ・色・形)を伝えられなかったときに、ジェスチャーを使って尋ねたり、聞き返したりして、正確に聞き取ろうとしている児童を紹介し広める。 ◎おうちの人に渡すサンキューカードを作るために、相手に伝わるようにゆっくり話したり相手の言葉を復唱したりしながら、色や形など、身の回りの物の中で欲しいものについて尋ねたり答えたりして伝え合っている。 〈行動観察・紙面分析・動画分析〉 ◎おうちの人に渡すサンキューカードを作るために、相手に伝わるように身近にある物を指さしたりジェスチャーをしたりしながら、色や形など、身の回りの物の中で欲しいものについて尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。 〈行動観察・紙面分析・動画分析〉</p>	
<p>[期待する既習表現]</p> <p>O.K. Here you are. No sorry. Thank you. You're welcome. See you.</p>			
4分	<p><b>Comments</b> ○本時の振り返りをする。 ○HRTのコメントを聞く。</p>	<p>・振り返りは、必要なシェイプスカードを、集める時や渡す時の工夫ができたかという視点から、振り返りシートに記入する。その際、録画しておいた自分の会話の様子を視聴し振り返りに活かすようにする。</p>	振り返りシート  1人1 台端末
1分	<p><b>Greetings</b> ○おわりのあいさつをする。</p>		

1人1台端末の使用は効果的だったか

○本時では、児童一人ひとりが自己の課題を追求できるように、導入時に前時の自己の動画を確認したうえでMy goalを設定できるようにした。また、言語活動中に自分自身の会話の様子を録画し、自分の様子を振り返りの時間に確認できるようにしたことで、児童がMy goalに対する達成度を振り返ることができていた。

○児童が事前に作成したデザインやショッピングリストをもとに、需要の多いシェイプスカードを明らかにし、お店側の子どもが担当するシェイプスカードの割り当てを考えたことで、言語活動の量の個人差があまりでないようにできた。

▲Half timeで「同じお店で一度に2つのものをもらいたいが言い方がわからない」という児童の困りが出て、話し合いのなかで解決案が出たが、より中間指導の意義を高めるために、終末時に困りを出した児童に、困りは解決したか再度聞くことが必要であった。

▲「お家の人に感謝の気持ちを伝えるためのサンキューカードをつくる」という単元ゴールを達成するためには、自分のためにもクラスメイトのためにもシェイプスカードを集めるやりとりを正確に行うという目的意識を導入時により明確に児童と共有する必要がある。